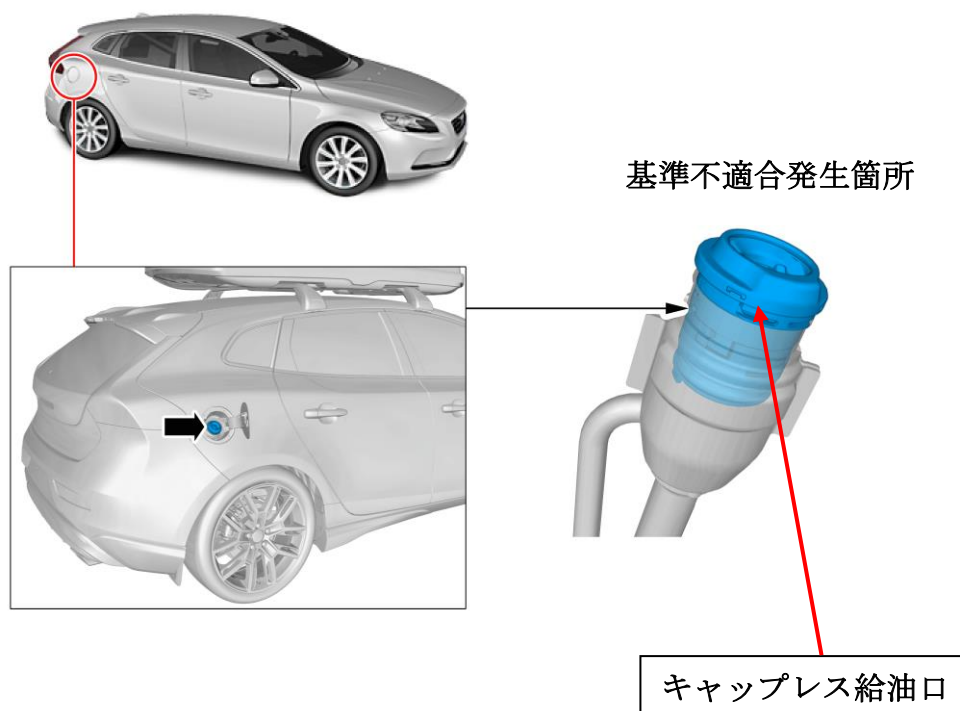


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

燃料装置において、キャップレス給油口のシール材質が不適切なため、洗剤等の水分によりシール性が低下し、雨水等が燃料タンク内に侵入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、エンジン出力が低下し、警告灯が点灯、最悪の場合、走行中にエンストし、再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、キャップレス給油口を対策品に交換する。

識別

右側ドアヒンジ部へ黄色ペイントを塗布する。

注： ☐ は不具合箇所を示す。